

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり国際ビジネスセンター情報誌

2012年5月10日

VOL. 66

とっとり国際ビジネスセンターの紹介

今年度の事業・体制をご紹介します

とっとり国際ビジネスセンターが昨年7月に境港の夢みなとタワー内に開所してから、10ヶ月が経過しました。その間、当センターでは、香港・韓国などで展示会や商談会を実施し、多くの企業に参加して頂き、いくつかの成約に結びつけてきました。

また、今年2月には本県初の試みとして、タイに総勢30名におよぶ経済訪問団を派遣し、工業省や日系企業等の視察訪問を実施しました。広大な敷地の中に立ち並ぶ日系企業を目にして、県内企業も海外展開とは無関係でいられないのではと考えさせられました。

今年度は、香港やシンガポールで開催される食品関係の見本市への参加や、自動車部品関連産業を中心とした経済訪問団の派遣（場所未定）を行う予定にしています。また、台湾・上海に加え、韓国にも新たに海外コーディネーターを配置し、現地における企業や消費動向等の最新情報を随時提供していきたいと考えています。

「ロシアビジネスサポートセンター（RBSC）」についても、引き続き当センターで運営を委託していくことになりました。今年度から、当センター内にRBSCを配置し、2年間の継続契約によるメリット（長期的な視点での事業展開が可能）を生かし、確実な商談・成約に結び付くよう対応していきたいと考えています。

形こそ違え、県内でも多くの企業が海外との取引や進出を果たしています。また、韓国やタイ等が進めるFTA（自由貿易協定）等を視野に入れた世界規模での事業展開を目指す企業も出てきています。

当センターは、今年度から韓国語スタッフ1名を加え、総勢7名（1名は東部窓口）の体制になりました。県内で一人でも多くの雇用を創出していただけることを願いながら、海外での事業展開を支援していきたいと考えています。

■スタッフ紹介

職名	氏名	主な業務
センター長	永島 照夫	・統括
副センター長	岩田 朗	・国際ビジネス支援アドバイザー制度 ・ロシアビジネスサポートセンター運営業務
主事	早川 梨那	・海外チャレンジ補助金 ・海外コーディネーターに関する業務 ・展示商談会（香港、シンガポール）開催、運営
コーディネーター （東部窓口）	中江 正	・海外市場動向調査団派遣事業 ・展示商談会（中国）開催、運営
コーディネーター	黒住 昭夫	・展示商談会（韓国、台湾）開催、運営 ・貿易相談、企業支援
コーディネーター	石田 勝茂	・展示商談会（ロシア）開催、運営 ・韓国江原道テクノパークとの交流事業 ・貿易相談、企業支援
スタッフ	許 福美	・韓国語の通訳、翻訳 ・韓国との貿易事務補助

【とっとり国際ビジネスセンター センター長 永島】

目次

とっとり国際ビジネスセンターの紹介	P 1
最新の上海 ～現地レポート～ 50	P 2
現地発！ 台湾月刊レポート 59	P 3 P 4
お知らせ	P 5

世界の祝日 6月

- 中国 1日 児童節
22～24日 端午節
- 香港 23日 端午節
- 韓国 6日 戦没者慰霊日
- タイ 4日 仏誕祭

最新上海 ～現地レポート～ 50

食の安全を取り巻く環境 中国でいうところのオーガニックとは？

日本や欧米では、「ロハス (Lifestyles Of Health And Sustainability)」という言葉が広く一般に認知されている。ウィキペディアによると、ロハスとは、健康で持続可能なライフスタイルで、健康や環境問題に関心の高い人々のライフスタイルを営利活動に結びつけたマーケティング用語である。欧米や日本では、ロハスという概念が衣食住のあらゆる市場に影響して、オーガニック（有機栽培された食品や衣類等）、ヨガ、省エネやエコ、アーユルベータ（インド大陸の伝統的医学）、東洋医学などのブームをもたらした。

現在も発展著しい中国では、欧米や日本に比べ、まだまだロハスやスローライフというよりも、より豊かな暮らしを追求する傾向が強く、衣食住において高級で品質のよいものが好まれている。とりわけ、食に対しては安全・安心・健康的なものが求められており、その中でオーガニック食品市場が拡大している。そこで今回と次回の2回に渡り、中国の有機食品、とりわけ有機農産品についてご紹介する。

■中国の有機農産品市場と今後の展望

日本でも中国産ハウレン草などで残留農薬が話題となったが、中国の一般消費者も不安を抱いている。そのため、中国では野菜や果物を食べる前に、長時間水に浸したり、湯通ししてから調理するなどの習慣がある。また本来は野菜や果物の皮にも栄養が豊富であるが、最も農薬が残留しやすい部分であるため、必ず皮を剥いてから食べる。このように、食べ物の本来の味を楽しむことよりも残留農薬対策が優先されてしまうのである。

有機農産品の価格は普通農産品に比べ3～10倍で、またニセモノの「有機商品」が問題になり認証制度への不信感を抱く消費者も多いもののやはり、有機食品市場は急成長している。国際有機農業運動連盟 (IFOAM) により発表された「2012世界有機農業年鑑」によると、2009年末時点での中国の有機製品輸出額は4億6400万ドル（約385億円）で、農業輸出総額の1.2%を占めており、中国国内の売上高は106億元（約1380億円）で、食品総消費の約0.2%を占めているようだ。現在、中国の有機食品市場は年平均20～30%の成長を続けており、2015年には約500億元（約6500億円）規模に達すると見込まれている。ちなみに、日本のオーガニック食品市場規模は1400億円である。現在の日中の

市場規模はほぼ同じであるが、中国ではこれまで輸出向け製品の生産が主だったが、今後は国内の需要増加に対応して国内向け有機農産品の売り上げが拡大していくだろう。

■中国における有機農産品の分類と認証制度

中国政府が農産品の品質と安全向上のため、「三品一標」と呼ばれる食品の統一基準及び認証制度を創設した。これにより、普通農産品を除き、「無公害食品」、「グリーン（緑色）食品」、「有機食品」に分類される。

①無公害食品

農業部農産品品質安全センターにより認証される。サンプル検査を行い、重金属や残留農薬量が規定された基準値以下であることを確認された食品。

②グリーン食品

無公害食品と同様、農業部農産品品質安全センターにより認証される。緑色食品は更にAA級とA級に分類される。

AA級：生産地の環境が「緑色商品産地環境品質基準」を満たしており、生産過程においては、化学合成農薬・肥料及び環境や人体に有害なものを使用しておらず、有機肥料や環境に無害な方法で害虫対策を行うなどの基準を満たしている食品。

A級：生産地の環境が「緑色商品産地環境品質基準」を満たし、規定された基準以下の化学合成農薬・肥料を使用している食品。

③有機食品

中国国家認証認可監督委員会 (CNCA) により認可された機関が認証。生産過程において一切の化学合成農薬・肥料・添加物を使用しておらず、持続可能な農業技術を用いて生産された食品。また、生産・加工のほか、保管・運送・取引などの全ての工程において実地検査が行われる。

今回は、中国における有機農産品の定義や概要について紹介した。次回は、上海のスーパーや百貨店などで販売されている有機農産品の実情と動向についてレポートした上で、現在の中国有機農産品を取り巻く問題点について取り上げる。

-参考（認証マーク）-



無公害食品



グリーン食品



有機食品

現地発！台湾月刊レポート 58

台湾成長産業の概況

台湾成長産業である、介護事業、自動車産業、グリーン産業について、現況報告と市場開拓のための参考展覧会について記述する。

■介護事業について

日本では、毎年10月にHCR国際福祉機器展覧会が開かれているが、台湾においては5年前から徐々にシルバー市場が注目され始め商機が広がりつつある。中華民国対外貿易協会（通称Taitra）が、主催となっている「SenCARE 台湾国際銀髮族医健康照護産業展」である。台湾では、代表的な中高齢者向けの福祉展覧会である。この展覧会には、アメリカ、ドイツ、日本等の企業も参加しているが、ほとんどは地元台湾企業である。SenCAREが開始された2年後ぐらいから台湾企業においてシルバー市場の必要性が注目され始めた。ちなみに台湾では、シルバー市場のことを「銀髮市場」と呼ぶ。なんとなく優雅な感じの名称だ。この開始直後から、商機にさとい台湾企業が雨後の筍のようにシルバー市場に参入し始めた。実は、これらの企業のターゲットは、台湾だけではなく巨大な中国大陸市場に向けたものである。よって、台湾で物品製造販売、高齢者向けのサービスを創造するというよりは、むしろ手っ取り早く外国で成功している事例を代理店として受け、金儲け展開をしようと考えている企業が多い。同時に消費者への広告宣伝、教育活動も盛んになっている。以下は、福祉機器関係の企業サイトである。参考にされたい。

- 医療機器：アメリカ、ドイツ等がメイン
- 遠距離看護：USA HelloNurse（鑫濃科技股份有限公司）
http://www.sencare.com.tw/zh_TW/exh/info.html?showArea=&comENamePrefix=A&id=06A951854618C706D0636733C6861689&rm=6&tc=7
- 血圧計、マッサージ枕等：ドイツ博依
<http://www.beurer.com.tw/index02.asp>
- 医療復健用品：カナダ
<http://www.farabloc.com.tw/about%20farabloc-C.htm>
- 生活用品関連：日本等
- 補聴器：台日合資（元健大和直販事業股份有限公司）
<http://www.digibionic.com/product.htm>
- 健康食品：日本
<http://www.fuji101.co.jp/about.html>
- 医療器材：日本 MINATO
<http://www.minato-med.co.jp/products/index.html>
- 食器具補助：日本 青芳製作所
<http://www.willassist.biz/>
- 食品：アメリカ
- 栄養食品、福祉食品：
<http://www.ezskincare.com/goods-3987.html>
- 住：日本 パナソニック
<http://panasonic.co.jp/products/#business-phc>
- 車椅子：日本 MIKI
<http://www.kurumaisu-miki.co.jp/>

《参考》

- 1 2012 SenCARE：会期2012年6月14～17日
- 2 台湾福祉機器管理部門：内政部多功能輔具資源中心
- 3 各社販売拠点と名称
百貨店：北之特企業有限公司
シルバー市場ネット販売：樂齡網
医療用品店：杏一、維康
- 4 福祉事業：福樂多
<http://www.furoto.com.tw/2.4.php>

■自動車商流・物流の現状

台湾自動車販売については、二通りにわかれる。
・TOYOTA、HONDA、FORD等：台湾現地生産
・BENZ、BMW等：海外の完成品を輸入
台湾の自動車輸入に関しては、以下のようなパターン。



例：中華賓士（ベンツ）総代理 台隆賓士子会社



台湾国産製造車について、部品輸入の実態は以下のとおり。

大陸製部品の輸入：プラスチック製品、板金等
台湾製部品の輸入：電気精密部品等
その他：エンジン、コンピュータ制御部品

日本メーカーの自動車に関して言えば、ほとんどが部品を日本から輸入して台湾で現地組立しているようである。

自動車関連の展覧会は、以下のとおり。

「台湾AMPA展覧会」参加業者：1051件、
来場者：国内50000件、国外60000件。

http://download.taipeitradeshows.com.tw/2012/ampa/download/2012_press_kit_ch.pdf

有名なメーカー一覧：

堤維西、帝寶、龍鋒、耿鼎、佳欣、秀山、南勝企業、南晃交通、和大工業、車王電子、同致、怡利、輝創電子等。海外からは、アメリカ、ドイツ、日本、韓国、タイ、フィリピン、中国大陸等。

自動車部品、配線、メンテナンス、車用電子部品、自動車改良部品、エンジン等の出品があり、自動車関連部品をチェックするには、欠かせない展覧会となっている。台湾の自動車関連部品は、研究開発がすすんでおり、海外市場の開拓に成功している。税関資料を見ると2011年の自動車部品輸出金額は、61億米ドルに達し、

《次頁へ続く》

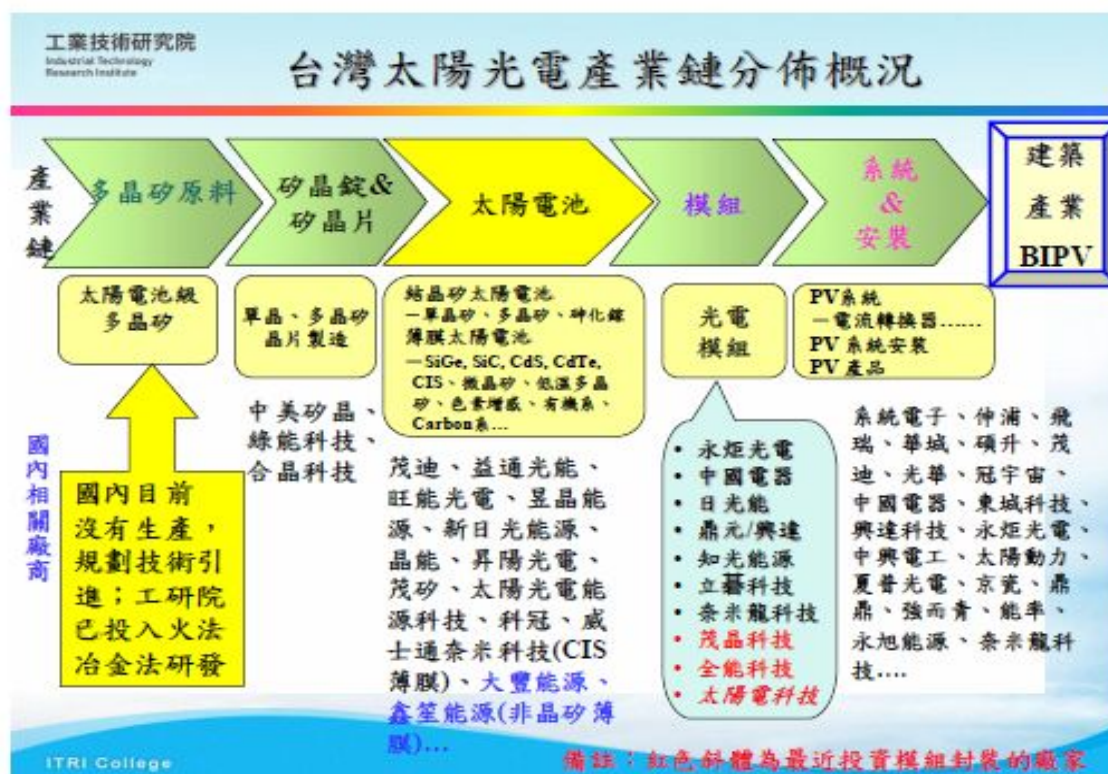
2010年に比べると7.8%もの高い成長率になった。相手国は、アメリカが35.4%、EU24.7%、日本6.6%であった。自社製品を台湾に輸出したい場合は、まず自社関連製品のチェックを展覧会で行うべきであろう。

■EV(緑色産業)について

各領域の商流は以下のとおりである。

領域	上流産業	中流産業	下流産業
太陽光電	シリコン	太陽電池	太陽光電システム
	パネル	太陽電池組立	太陽光電電力転換器
		薄膜太陽電池組立	太陽光電通路/供給者
LED照明	LED	組立	システム
			LED業者/供給商
風力発電	原材料	組立者	システム商
			風場開発商
生化学燃料	廃食用油回収商	生産製造	供給
	エネルギー作物	生産者/設備供与	販売
	動植物油		
エネルギーシステム	コントロール	電力設備とシステム開発統合	電業及びESCO
電気自動車	電池材料	電池芯、電池組立、モーター	組立

出典：<http://www.taiwangreenenergy.org.tw/>



<http://college.itri.org.tw/document/0801/pv-future.pdf>

上記は、太陽パネルの製造工程である。わかりづらいと思うが、メーカー等が書いてあるので参考にされたい。

http://www.greentaiwan.tw/zh_TW/index.html (中国語)

http://www.greentaiwan.tw/en_US/index.html (英語)

太陽光発電、環境保護、水資源等を中心にして、台湾グリーン産業の展覧会が2012年10月9日より開催される。この産業については、日々プレイヤーがかわり、また成長が著しく、多分野に及ぶ。そのためまずHPを参考にし、もし興味のある分野が有りましたら、ご連絡ください。調査をします。

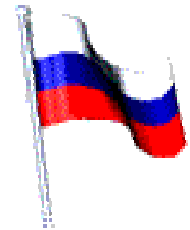
お知らせ

公益財団法人鳥取県産業振興機構とっとり国際ビジネスセンターでは、環日本海定期貨客船の境港就航に伴い、より身近になったロシアにおいて、鳥取県の産品・文化・観光のPRを行い、認知度を高め、ロシア市場に関心のある事業者の皆様の販路開拓を支援するため、「鳥取ブランド展inロシア」を開催します。

ロシア極東地域では、日本文化に対する関心の高まりや健康志向を背景に、日本食品など日本製品の市場が拡大しています。また本年9月にはAPECがウラジオストクで開催されるなど、世界的にも注目を集めている地域です。ロシアへの輸出促進・販路拡大に御関心のある方は、ぜひ御出展を検討ください。

■「2012鳥取ブランド展 IN ロシア」概要

- (1) 名称：2012鳥取ブランド展 IN ロシア
- (2) 会期：2012年10月14日 ※予定 行程：3泊4日程度
- (3) 会場：ウラジオストク市内
- (4) 主催者：とっとり国際ビジネスセンター、ロシアビジネスサポートセンター



■募集要項

- (1) 募集出展者数：5社程度（別途観光PR等あり）
- (2) 出展内容：鳥取県内に本社、支店、工場など関連施設がある企業・団体等で製造された製品等
- (3) 出展申込者の条件：
 - ①鳥取県内に本社、支店、工場など関連施設がある企業・団体。
※業界団体等が代表申込者となり、複数者を取りまとめて出品する場合、申し込み時点で孫出展者を決定し、他の出展者同様、事前調査表に必要事項を入力していただく必要があります。
 - ②出品物は、原則として、鳥取県産品或いは鳥取県内の加工工場等で加工された商品とします。また、制度上、日本からロシアへ輸出・販売が可能な商品に限ります。

■詳細、問合せ、申込

申込期限：2012年5月25日（金）17時 申込書類必着

詳細、問合せは、とっとり国際ビジネスセンターHP (<http://www.tottori-kaigai.com/>) をご覧ください。

【とっとり国際ビジネスセンター 岩田】

編集後記

とっとり国際ビジネスセンターでは、5月15日（火）～18日（金）の日程で、韓国・江原道（カンウォンド）へ経済団を派遣します。昨年10月に江原テクノパーク側から先端産業分野などの共同研究参加の企画提案を受け、今回の派遣では、医療・健康分野の共同開発や協業企業の発掘を目指します。

その結果について、本誌次号でご紹介いたします。



本誌「とっとり・グローバルウォッチ」は、皆様から内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでお気軽にお寄せください。

お問い合わせ：公益財団法人鳥取県産業振興機構 とっとり国際ビジネスセンター

《本部》境港市竹内団地255-3

TEL：0859-30-3161 FAX：0859-30-3162 E-mail：kaigai@toriton.or.jp

《東部窓口》鳥取市若葉台南7-5-1

TEL：0857-52-6757 FAX：0857-52-6782 E-mail：kaigai@toriton.or.jp